

第2回生月町地域協議会会議録

1. 会 場 平戸市役所生月支所3階第2委員会室
2. 日 時 平成27年6月5日(金) 午後1時30分開会
3. 出席委員 志水委員、岩井委員、川淵委員、濱崎委員、富岡委員、富澤委員、
鴨川委員 米倉委員、伊藤委員、谷本委員、山浦委員
4. 欠席委員 松永委員、中山委員
5. 議事録署名員 濱崎委員、川淵委員
6. 職 員 濱田支所長、西地域振興課長、石橋参事監、船原館浦出張所長、池田
生月病院事務長、平松教委生月分室長、松本生月・山田保育所長
寺田地域興課市民協働班長、榎屋地域振興課産業建設班長、破戸主査、
山口主任主事
7. 傍 聴 人 3人
8. 審査案件等の概略及び審査結果並びに発言内容

13時30分開会

(1) 会長挨拶

山浦会長挨拶

(2) 議事

1. 平成26年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金実績評価について
2. 平成27年度まちづくり活性化事業交付金(生月地区)審査について
3. 平成27年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金審査について
4. その他

○会長

まず、議事項①平成 26 年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金実績評価、2 件についてですが、審査部会長より評価結果についての、報告をお願いします。

○審査部会長

それでは、評価についてご報告いたします。本日 9 時 30 分から 12 時まで 1 名の欠席がありました。5 名の委員の出席のもとで、審査いたしました。皆さんのお手元の資料では、資料⑤をご覧ください。一番最初に「命を守る」子育て講演会事業、アドバイザー等招へい部門ということで、皆さん参加された方もいらっしゃると思いますが、1 月に山田小学校 PTA が事業主体となりまして、講演会を行いました。そのための市の補助金を申請され、それについての評価でございます。事業主体の意見、委員からの意見もあつたんですけど、内容についてはもう非常に参考になったと、良かったと、参加した人にはためになったと、しかし参加人数がですね、会場が 500 人入るんですけど、100 人ぐらい、で予定よりも少なかったということが、1 つの反省点でございます。このことにつきまして、やはり良い講演会でございますので、今後引き続き実施してもらいたいということと、多くの方々に呼びかけて参加者を増やしてもらいたいということが、多数の意見でした。評価を行ったんですけど、それぞれの委員の評価を平均しまして、21.2 ということで、実績評価の最高は S なんですけども、その次の AA で、非常に高い評価をうけており、審査部会のほうでは、合格ということで報告します。最終的にはこちらのほうで承認をいただくということとなっております。それが 1 点です。もう 1 点ですけども、これも皆さん観ていると思いますが、生月漁港の堤防の壁面の絵でございますが、これは新規事業チャレンジということでなされております。だいたい 60 万円くらいかかるんですけど、絵自体の是非はありませんでした。とてもいいことだから継続してもらいたいということで、1 つ課題ができましたのは、新規事業チャレンジですので、3 年間しか補助金が出ないんですよ。で、4 年以降、実際の計画としましては、全体 100m。今のところ、10m、20m で 30m ですけども、全体 100m ぐらい延ばして行きたいということですけども、継続的に行うにあたって資金が続くかどうか大きな課題でございます。その資金は補助金だけではなくて、一般市民に呼びかけたり、他の補助事業でできないかとかですね、そういうことを、今後とも進めて行きたいということで報告がありました。委員もそれに同意されまして、その方向について、委員とか地域協議会そのものもサポートして行くということで意見が出ました。これにつきましても、実績の評価ということで、各委員に点数を入れていただきましたところ、先程と同じように S の次に AA。平均得点 21.1 ということで、審査部会については、合格ですということで認められました。この 2 点につきましては、地域コミュニティをどうするかということで、進めているわけですけども、先程話しました命を守る講演会についても、堤防の壁面を塗る事業にしても、なにかこれを発端として、どんどん展開して行ける。ということは、市民参加型の事業に発展できるのではないかとということで、進めていけたらどうかとの提案もありました。今回は評価の 2 点ですけども、今年度また出てきたところで、皆さ

に報告をさせていただくわけでございますけども、先程申し上げましたとおり、堤防の壁面につきましては、来年まで、命をまもる子育て事業については、今回山田小学校PTAが事業主体となったんですけど、来年は、生月中学校が事業主体で出すということで、継続的に行われるということで、今度申請が出てきたところで、今後の取り組みについては、ご報告させていただきます。で、今申し上げたとおり、2件については、審査部会では合格ということになりましたので、地域協議会のほうで承認していただくような形で、進めていただければと思います。以上です。

○会長

ありがとうございました。

只今、審査部会長より評価結果についての報告がありましたが、何か他の委員さんから、質疑はございませんでしょうか。

無いようですので、審査部会の審議のとおり、承認してよろしいでしょうか。

(はいとの声)

それでは、只今の案件は地域協議会といたしまして、承認いたします。

それでは次の議事に入ります。次は審議事項②平成 27 年度まちづくり活性化事業交付金(生月地区) 審査について、審査部会長より報告していただきます。

○審査部会長

では、今年館浦で行う競漕船大会の事業についてですが、今回が 19 回目ということで、長い歴史を持っています。事業内容も昨年からすこし加えて実施してはいますが、今回は事業内容については、変えないということで、1つだけ大きな違いがありまして、魚つかみ取りの参加費というものをですね、今まで無料でやっていたのですが、今回から有料にしたいという事でございます。というのは、春まつりで、はじめて有料にして実施したところ、それでも多くの募集があつて、それで今回、1人 300 円で、約 3 万ということで、収入として、入れて行きたいということです。そこで今回変わったことは、その 3 万円増えたのをどうするかということですが、競漕船の補修・メンテを実施しなければなりません。そちらのほうに充てて、今後の継続性を求めるために、参加の人数、実施時期、イベント内容については、昨年度と変わりありませんので、特に大きな意見はありませんでした。もう 1 つ、和船の修理についてですが、ここに住んでいる市民全体の事業であるということで、100 円募金ということで、募金箱を置いて、そこに募金の趣旨を書いて、和船の修理に使うんだと、いうことで、市全体のイベントとして、取り組んで行きたいと。これが今年度変わったところです。この意見についても委員のほうからも賛同をして、これは点数はないんですけども、その場でいろいろ意見を求めたところ、それも、支えていくということで、協議した結果、賛成ということで、結論に至りました。以上でございます。

○会長

ありがとうございます。只今、審査部会長から報告がありました審議のとおり、承認してよろしいでしょうか。

(はいという声)

意義もございませんので、地域協議会として、承認することといたします。

○会長

次は、平成 27 年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金審査についてですが、審査部会長より報告をお願いします。

○審査部会長

部会のほうで、意見統一をやろうということで、内容そのものがどうということかと申しますと、NPOから申請が出た部分で、臨海学校をやって、そこで子供達に和歌を学ばせようというのが、主な事業として、事業主体、それからNPOの性格上、補助金を申請できるかどうか、それから定款、役員の構成、会員、それから色々見た結果、申請に値するには、不備な点が多く、とりあえず意見だけは、担当者呼んで質問したところ、事務局と相談の上、取り下げることでありましたので、ここでは具体的な話は、申し上げないということで、審査部会では了解しましたので、報告いたします。

○会長

ありがとうございました。只今、審査部会長よりご報告がありました件につきましては、取り下げることとなりましたので、ご報告いたします。審査部会のほうの審議につきましては、以上で終了いたしますので、ここでしばらく休憩します。

(休憩)

○会長

休憩前に引き続き再開します。次の議案は④のその他の件になっておりますので、その他の件の入ります。私のほうから事務局のほうに1、2点伺いまして、皆様も事務当局になにか伺いすることがあればどうぞ。はずはじめに本年度の地域協議会の運営費につきましては、当初予算40万5千円組まれております。これは計算しますと、最長5回までしか開催できないようになっております。もっと審議の中身を濃くして行きたいと。その為には、審議の時間も、日数も必要だと。この回数を1、2回増やすことは出来ないかをお願いを申し上げてきましたけど、この10年間見ましても、4回から5回と。ほぼそういう回数でやっているということで、行政当局にとって地域協議会は決まった議会との関連事項の中で、会議を開きなさいというようなありかたで、推移しているように感じる。それはそれとして、

今回の、27年度の事務当局としては、地域協議会を何回予定し、開催時期をいつにしているのか、まずそのことから、お答えをお願いします。

○支所長

お答えをします。地域協議会の開催の回数については、予算は5回で組んでます。定例会で4回。定例市議会の前月ということで、5月、8月、11月、2月の4回で、それ以外に、特別協議事項が出た場合を考えて、臨時会ということで、1回。ということで、5回の予定で予算措置をしています。

○会長

はい。ありがとうございました。
皆さん方から何かご意見がありましたら、どうぞ遠慮なくおっしゃってください。

○委員

成人式のことですが、市長があっちこっちではっきり、成人式を10年(合併後)を区切りとして、一本にするということで、この地域協議会、区長会でも発言されました。それに対して、私たち区長会としても、この地域協議会としてもなんら不信感も持ってなかった。実は各地区(旧町村)の子供達と審議をしたのであろうと思っていた。それですんなりといったかと思っていた。だから、多分なにもなかったから決めたよという市長の考えだと思いますが、あまりにも成人者をちょっと、言い方がわるいですが、粗末にしているものではないかと思えます。ただ合併後10年で一本化する。前の議事録をみれば分かると思いますが、市長が、どっかの若いものとの飲み会で、高校生と久しぶりに会いたいといっていた。これは単なる同窓会でいいんです。でも、私らにとっては、成人式、41,60歳というのは、人間の一生の節目なんですよ。それを簡単に、私達も成人式は覚えているでしょう。それを、10年(合併後)経ったから一本、しかも、ぜんぜん当事者を呼ばなくて。話し聞きますと1人か2人呼んで、話しをした。今度近いうちに話があるのは、内容がほぼ固まっていると聞いてます。それである子供から、生月で実施したいと相談されたが近々地域協議会があるからそこで言うてみるからと。子供からは生月で成人式をしたいとのことでしたし、今年のことを今年言われても納得しないといいました。せめて、8年前から10年目になったらこうなるよと話が出ていればわかるけど、都会に行っている子供達はなにも知らないんですよ。生月に来て成人式を皆です。それが楽しみにしているんですよ。お金を貯めて、帰ってきて。それが、当事者の子供達をあまりにも馬鹿にしているのではないかという気持ちもあるし、私は、ちゃんとした進め方があったんじゃないのかと。今後なにか進展ができるような、お話を聞きたいです。以上です。

○教委生月分室長

その点につきましては、2、3日前の公民館運営審議会の中で初めて、○委員さんより話を伺ったんですが、この件につきましては、公民館運営審議会の議事録がまだできておりませんので、議事録ができたなら本課のほうに、正式に報告に行くからと、○委員さんにお伝えしておいたわけですが、正直なところ、予算については、従来どおりの当初予算をたてていたんですけど、本課のほうでまとめて一括で予算化をして3月議会に上程をした状況です。そこらへんについては、私たちについても、昨年の1月か2月ごろに久松課長がここに来て、一本化にさせていただくということで説明したところで、それでは、一緒に文化センターでやるのかなというところで、本課のほうで予算が組まれたのかなと、私は認識してところです。それと、4月の中旬頃、新成人を2名選出して、名簿を本課の方へ提出してこないかとのメールが入ってたわけですが、それについては、2人ほど地区から代表者を呼んで、成人式はどのようにするのかと、意見を聞くのかなと、私は正直なところそう思っていました。それ以降については、いつその会をするのかは、連絡はあっておりませんので、私の情報としては、そのときにはなしをするのかなと気持ちを持っていたわけですが、初めて○委員さんのほうから話を聞きましたので、その真意については、本課の方で照会をしようと思いますので、私は、皆さんが、市長が言うし、本課そういうところで話が進んでいるということで、私は認識をしていたところです。

○会長

今の一連の成人式の取り組み方、これについて他の委員さんからご意見ございませんか。

○委員

成人式を地元でやるというのは、学校単位とか、中学校単位ですれば、成人式を迎える方の気持ちは分かると思うんですけど。○委員に聞きたいのは、たとえば、なぜ平戸になったのといわれたとき、だれも説明できない。それは経費節約上なのか、平戸市全体の権威を高めるためなのか、そこが今誰もわからないんですよ。それは、お金が足りなくなったから一箇所にまとめれば安くなったから、それはしょうがないですっていうことであれば、それも1つの子供達に説明する理由になるかもしれません。そのところを私も今安易に、向こうであります、ああそうですかっていう形になったんですけど、結婚式でいえば、平戸市のあっちの方でやって、披露宴は生月の方で盛大にやればいいのか、今も2次会みたいなものをやっていますから、そのところが実態としてどうなのか、ここでかならずして、市長を呼んで、来賓祝辞をもらわないと、いけないのか、そのところは、皆が分かるような形で、誰か説明するなり、聞いてくるなり、いかがですかね。感情的にはここでやった方がいいですよ。しかし、子供達から問われていや俺もそうだ、俺たちもやったからじゃ、それは通らないですよ。こうこうこういう理由で、そのかわり、往復のバスは、全部チャーターするとか。こちらの2次会費はいくらか免除してもらおうとか、だからそういうふうなバ

一時的なものも、はたして条件的にあるのか。そこを整理して子供に説明したり、それでも納得がいかない時は、従来どおり生月で単独でやりますと、その代わり予算がどういう措置になるのか、私も分からないんですけど、ちょっと悩みます。どちらでも良いついていう訳でもなくて、どちらの言い分もわかるような感じがします。協議会では、冷静にそれをどうさばけるか、協議会で子供達の言い分が本当だということであれば、それは取りやめろという一致で、いってもいいんですけど、そのところは、大きな議論になるのか、小さな議論になるのか分かりませんが、そのところはきちんと整理してほうがいいと思います。

○委員

今のご意見はもっともなんです。で、話を聞きますと、車は向こうから手配をするということなんです。市の条件はどうであれ、色々な討論がこれからして欲しいなど。子供は子供の言い分、市の言い分は市の言い分、たぶん平行線にはならないと思いますが、ある程度歩み寄って。私が言うのは、今年のことには今年に言うなよと子供達が言うわけですよ。僕たち楽しみにしていた。やっぱりこれが、結婚式を例としてあげましたが、結婚式も重要なことですが、やっぱり子供達にとっては、ほかの知らない子供達と一緒にするよりも、やっぱり楽しみにしていた成人式。これが3年前から言っていたらある程度、覚悟はできていたと思います。だからお互い感情的にならないように、私は話し合いの場をもって、子供の言い分、市の言い分をはっきりわかるような体制をお願いしたいと思います。

○委員

大島や度島の方々はどうするのでしょうか。他の地域の方も一緒にしたいと言ってらっしゃるのでしょうか。生月の方がそんな意見なんですか。私としては、やっぱり、地域は地域で成人式はして欲しいと思っています。でも、他の地区の事を考えたら、大島、度島その方々は船ですよ、平戸と一緒に集めるとしたら、天候とかもあるわけで、そのところはどうかでしょうか。

○会長

この話はですね、地域協議会の期間延長の陳情を田平と生月と大島の3ヶ町村で市長に行ったときに、話が出たんですよ。その時、私らが、そんなことを考えていなかったら、言い出しは田平の方から、平戸市の一体感を醸成するには、まず若い人達の気持ちを統合してもいいんじゃないかと。その1つの方法として、年間行事のなかでは、成人式があると、言うような意見が出されました。これに対して、大島のほうは、分校の関係もあって2年間と一緒にできないと、大島は。それともう1つは、朝から早く準備しなくてはならない。距離的にですね。晴着を着て時化たら潮波で汚れるから、まだまだ検討する必要があるということなのでその場が出たんですよ。で、この間市長がおいでになった時に、統合してやると。市長は、それともう1つポイントになるのが、地域は地域で考えて何かやればいいじゃない

せんかというようなことをおっしゃっていましたが、だから私もその会議の場で、市長には質問したんですよ、出口調査かなんかって、アンケートとりましたかって。統合してやるときに。そして市長はそんなこと1回もやってないと答えた。その時も市長は若いものの声として、せっかく集まったんだから、高校の同窓会を集まったついでにやりたいという希望が強いということも併せて、おっしゃってましたね。私としては、統合するなら、意識調査をするのかなと。前段にですよ。そういう気持ちでおったわけですけど、半年経ったらこの間の説明のように、このような状況になってきたんですよ。だからどういう形で、そういうこの状態になったのか、経過は全然わからない。支所長にも聞いても、こういう合同でする分んの具体的な話し合いの中には入ってないということで、もし私が疑問に思うのは、市長が言ったように、生月は生月の生まれだということで、生月島で成人式をやりたいという強い気持ちがあれば、市長の言うように、正式には一緒にやりましょうと、生月のひとは、式が終われば、自分達だけでやりなさいよ。企画して。というなことがもし通ったら。生月で主催した場合、その経費は、どう考えているのか。という問題も出てくるですよ。今出ている問題を協議会でとりあつかって、こういう場合にすべきではないでしょうかと意見を申し上げるところまで議論を詰めて行く必要があるかどうか。それは皆さん方で検討したいなと思います。それと今、○委員さんからこの件に対して、市議会で何か意見がでたのか、聞いてみたいと思います。ここでしばらく休憩をします。

○会長

休憩前に続き再開します。

来年度の新成人に対する、成人式のあり方について十分議論していただきました。1つの結論として、大変ご苦勞ですけど、○委員さんのほうで、新成人のほうに指導いただきまして、新成人の気持ちを、取りまとめて。新成人がどうしても、もっと前に告知があつてしかるべきだと、生月で開催して欲しいという要望書を作っていただいて市長宛、あるいは市議宛に提出していただくと、その結果については、新成人の方から、地域協議会のなかからなにか対策はないか、考えてみてくれないかなれば、その時また、協議したいと思います。以上のような結論付けで皆さんよろしいでしょうか

(はいという声)

異議がなければ、この件については、ここで止めたいと思います。

ここでしばらく休憩します。

○会長

時間になりましたので再開します。

ほかに質問があればどうぞ。

○委員

サンセットウェイの災害復旧の工事がどうなっているのかお尋ねしたいと思います。以前の話では、夏前には工事が終わって開通するというお話を聞いていたんですが、現場を見る限り、そういう感じじゃないし、また夏休みからですね、9月、10月と観光シーズンに入りますので、現状がどうなっているのか。どういう理由で通れないのか。現状と見直しをお尋ねします。

○地域振興課参事監

農免の災害についてはですね、今、看板が出ていますとおり、7月末までが、当初は、27年の3月末までの工期だったんですけど、平成26年度4月、5月、6月の雨でですね地盤が動いているということで、そのためにはどうすればいいのかということで、道路にクラックが入っていたんですけど。荷重がかかるためにその部分を取り除く排廃土工という工事が、いま掘りさげてセメントをしている状況ですけど、その分が、新たな工事として出てきたということで、その分で、3ヶ月を要したものですから、27年3月までの工期を、4ヶ月延ばして平成27年の7月までの工事というふうなことで、今出ている状況なんですけど、現場を見るんですが、農林課と話をするとまだ地盤が動いているというようなことで、再度、工法の協議を行って、国とコンサルを交えて、国の災害の工事なものですから、国との協議が、必要になってくるということで、今の7月前の工期を再度国と協議を行って、工法の協議、それと工期延長の協議を行って、国の承諾を得て、おそらく11月ぐらいまでは、工期が延びるのではないかと。工法としては、今、道路を上から土砂が堆積してきているので、道路部分を排土で取っている状態で荷重を軽くして、その現場が地すべりの兆候みたいなものが出てきて、一番下にですね、大型フトンかご枠を、石垣を何段か積むわけですね。一番基礎となる石垣をつくところの地盤が動いているということで、その協議をして、基本的には一番下のところに基礎となる部分の大型かご枠をつくりまして、それから道路に向かって法面工事をして、そして上の方にアンカー工法として、地盤までワイヤーを引っ張って、アンカーを打って、受圧版を付けて、その上に埋め戻しをして、今年の11月までに工期が延びるんじゃないかと思われま。なにしろ、今の時点では、基礎となる部分のところは、石垣を設置する部分が湧水も多いわけなんですけど、まだ、地盤が動いているということで、コンサルを交えて、国と工法の協議を行うというふうな、模様でございます。

○委員

分かりましてけど、サンセットウェイの重要性を、県なり国なりにきちんと伝えて、速やかに行ってほしいと思います。よろしくお願いします。

○副会長

2つあります。1つがB & Gの指定管理の業者の進捗状況とそれに伴う職員の採用、この前チラシが出てましたけど。

2点目が空家の対策。ほおっておけば危険家屋になると思います。生月町内の中に、そういった、倒壊のおそれ、危険性の高い空き家がどのくらいあるのか、その補修に対する特例法があるのか。

○教委生月分室長

B & Gの指定管理につきましては、色々業者とか、照会をしてみたんですけど、どうしても指定管理の引き受け手がないということで、皆さんご承知の通り、非常勤職員の採用をして、対応をしようということで行っています。5月1日より、田平出身の方を採用いたしております。本日から沖縄でアクアの研修を受けに行っております。B & Gについては、何しろアクアの資格を持たないと、仕事に従事できないというか、万が一事故等が起こった場合責任をもたれないということで、資格取得のために、研修に行かせております。それで一応正規職員が1名、非常勤職員が1名ということで。非常勤職員は週29時間の従事ということで、フルタイムではございません。この点につきましては、公民館、教委生月分室の方にも管理面で負担がかかっているのが現状です。来年度につきましても、正規職員ではなくて、2人とも非職員化に行くということで、今のところ話が進んでいるということでございます。

○地域振興課長

まず、私たちどもが、引継ぎを行ったとき、空き家が増加して、危険な個所が数箇所あるので、区長会で、維持管理人のいない空き家について、報告をお願いしておりました。しかし、一部分の地区しか報告されていないので、再度区長会で報告を促して欲しいという引継ぎを受けました。それを受けまして、私の方で前課長に問い合わせをしたところ、まちづくり課が本庁にございます。まちづくり課の方で平戸市の全域について調査を行うということ、聞いております、これは、今年の8月頃から調査に入るということです。それで、先日まちづくり課の職員がこちらの方に来まして、その時に3軒、館浦で2軒、と壺部で1軒の状況を見て行っております。この3軒については、やはり前から、崩れかけてるところでしょうか、まちづくり課の方も承知をしておりまして、3軒をみております。まちづくり課のほうも、8月頃からの調査になると思います。以上です。

○委員

先程の工事の関係なんですけど、生月大橋の工事はいつ終わるんですか。で、こっちをやっているうちにこっちが錆びてきていると冗談言うひとも段々出てきました。あるところ

に聞いたら、ひどく安い業者に落札されて、それで進捗の部分が、期限があまりないんじゃないのかなとを小耳に挟んだので、あれは県なんですかね。あんな状況で、もう1年以上やっている。平戸大橋はペンキ塗りも3ヶ月ぐらいでやってしまいます。いまあそこの台を組んで、きて、それで、もう1つおかしいことが、業者の車が、15台ぐらい来ている。その為にあそこをせき止めて、片側通行になっているんですよ。それで業者は何をしているのかというと、昼飯時に行ってみてください。車は一台もない。だから、本来ならば業者の人は、1箇所にあつめて、一斉に上がって、片側通行をもっと狭くしてもよいのではないかと。色々、素人なりに考えているんですけど、工期がね、あの、大橋入り口の工期いつ終わるのか、いつまでかかるのか。もしまだ分かっていないのであれば、県だから急げとは言わないんですけど、情報だけ集めて、次回のときまでにお知らせ願いたいと思います。

○地域振興課参事監

県工事だと思いますが、再度、情報を収集いたします。

○会長

次回、会議までに情報をお願いします

○委員

4月に区の方から、地域の危険箇所とか要望を出してくれと言われて、これは今後どのような対応していくのでしょうか。1か所私が言ったところがあるんですけど、道路が陥没していた補修をしてるようですけど、いまだに陥没はなおっていないという状況です。そこらへんどこまでの範囲でするのかお願いします。

○地域振興課参事監

5月の20日前後で区長要望を締め切りをします。先程の補修は、私がしたんですけどまだたりなかったみたいで、今度ですね、今、取りまとめが終わったところで、今回、区長さんと班長さんも含めてですね、こちらからも支所長、課長、私、担当者と一緒に地区割りをしてですね、全部立会いをするようにしておりますので、緊急性があるところは、それを待たなくても、早急に出して行きたいと思います。

○委員

そこが特に陥没しているところで、カーブで曲がるときに、傾くわけですよ。危険を伴うと思いますので、早急をお願いしたいねと思いますのでよろしくお願いします。

○会長

今の件ですけれどね、緊急性のあるやつはすぐやると思うんですけど、振興計画に上げている部分もあると思うんですよ、だいたい要望が出てから、補修工事が完結するまで、年数にしてどれくらいかかりますか。

○地域振興課参事監

今、うちの方に出しているのは、通常の維持工事、補修工事みたいなものですから、予算の範囲内で、年内には十分予算の範囲内で完了していくんですが、振興計画に例えば晴木加場田線については、受益者の土地所有者の承諾印をもらって、要望を出して、それで、本庁のほうで振興計画に反映させて行くというふうなことで、晴木加場田線については、昨年ですかね、堺目と浦南の区長さんの連名と土地関係者の連名で要望を出して、100m以上というふうなことで、確保して、緊急を要するというので、今年度の合併特例債で、施工するように、一応、予算化されております。

○会長

今、言った予算の範囲内で、単年度、単年度、処理している話ですけども、予算が足りない場合やったら、2年先、3年先ということもありえるのですね。

○地域振興課参事監

通常の維持管理については、だいたい年度内でおさまっていると思います。急ぐところは区長さんからも直接言われて、道路の陥没とかしているところは、早急に対応しております。

○会長

それはもちろん車両の事故が起これば、行政が損害賠償を請求されますのですぐやるでしょうが、普通のクラックとか、水流れが悪くなったという部分については、今年要望したから、2、3年かかることもあるんじゃないんですか。

○地域振興課参事監

クラックが入ってですね、他にもたくさんあるんですけど、ここは走行しても大丈夫だなというところは、次の年度といいますか、ある程度こう、面積がないと。ただ何㎡だけで発注するというのが、なかなかできないもので、取りまとめをして、業者発注というふうなことで、時によっては、繰り越す場合もあるかもしれませんが、だいたいのところは、早急にしなければならないところは、年度内でおさまっていると思います。

○会長

今の回答でよろしいでしょうか。ほかにありませんか。

○委員

プレミアム商品券ことで。大変いい企画で平戸市は2割増しで、市民の皆さまが大変喜んでいいる。市の助成金も7,000万円も投入してやった事業で早い時期の完売して。大変いいことだと私は思いますけども、ひとつだけお尋ねしたいんですけど、私の個人的（漁協にもお店があるんですけど）な意見ですが、加盟店の問題ですけど、加盟店に対しての案内、漁協に対してなんの案内も無かった。担当者に聞いても、案内が無かった。どこで説明があったことも、聞いていなかった。早急に対応して加盟することができたんですが、加盟店の期限もぎりぎりいっぱい4月30日までですかね。5月になったら販売するというので、早い時期で完売してしまった。言いたいのは、加盟店の周知がですね、もう少し早く、仮に3月末ぐらいで、締め切ってですね、市民の皆さんに何らかの広報かチラシを配布して、こういった加盟店がありますよ、どうですか、買いませんかということが出来なかったのかと思います。実際私が一覧表をもらったのが、5月15日です。たぶん皆さん方もそうだと思います。地区の班長さんが配ってきて。それを見て、こんなに加盟店があるのかとびっくりしました。もっと早く、加盟店を募集して、そして市民の皆さんに広報してやってもらおうのが、よかつたんじゃないかなと思います。買われなかった市民の方がたくさんいらっしゃるんじゃないかと思いますが、そこで苦情とかなかったのかと思いますけど、お答えください。

○地域振興課参事監

商工会を通じて最初、公民館か支所の2階で、たしか説明会があったと記憶をしております。ただ私たちもですね、地域の方から、この店も入っていないけど、推進してもらえないでしょうかと、いろんなところも入ってなかったとか、名簿を見てですね。私たちも急遽未加入の店を回りました。やっぱり大変良い商品なので、広く加盟店の周知はですね、すべきだったんだと思います。

○委員

今の回答ですけど、販売先が商工会議所、商工会、観光協会、行政も売りましたけども。そういったところに、加盟したところに案内が行って説明会があったわけですね、加盟してないところは、農協さんや、漁協は案内がなかったと思うんですよ。そう言うところはですね、行政がやっぱり、目配り、気配りしてですね、早めに周知した方が良いと思います。

○地域振興課参事監

逆に、あの店が入っていないので、推進に行ってくださいよといわれて、結構何軒も回ったりした。

○委員

支所の2階で説明がありましたよ。商工会から2人ぐらい来て。

○委員

わたしもその件は回覧板で見ました。うちは、担当者に行かせました。業者の説明会は。

○会長

不満の声はどうでしたか。

○地域振興課参事監

特段、不満の声はなかった。逆にこちらのほうから、良い商品ですので、入ってくださいというような推進に回りました。

○会長

あまりにも早く売り切れたことへの不満はなかったか。

○地域振興課参事監

それはありました。もう終わりなのかというご意見はありました。

○会長

このプレミアム券はふるさと創生事業でやっている。たぶん国からお金が出て。これは単年度だけですか。

○支所長

単年度と思います。

○会長

私は、消費者の考え方でねプレミアム券が出たとき、賢く考えている消費者があまりにも多すぎたと思う。普通の人、高齢者なんかは1万円で2割、2千円の分よけいを買われるからいいんですよ。しかし、これ以上に考えている人は、近々大きな出金があると100万円の出金があるときに、20万儲かると。そういう買い方がされたがために、一発で終わったと思うわけです。だから、弱者救済にするためにも、そこらへんの取組みというかな、検討はほしかったなあという感じがありますけどそこらへんどう思いますか。

○委員

1人最高10万までですよ。

○会長

家族が5人おれば、50万になりますよ。そこらへんどう考えていますか。

○支所長

今後、このような商品券が発売されるか分かりませんが、今、会長がおっしゃられるような意見があったことを本庁の担当課に繋ぎたいと思います。

○委員

協議会からですね昨年から要望してました、博物館のリニューアル。これの進捗状況とかなにか情報があればお願いします。

○地域振興課参事監

今年度に当初予算で5千万の当初予算が計上しているところです。進捗については、ちょっとまだこちらのほうで把握はしてません。

○委員

予算の件が4,970千円の予算。本年度事業で行うことはお聞きしております。私もちょっと聞いたんですけど、今は、業者の絞込みを行っており、一般入札は馴染まないの、企画提案型のプロポーザルそれによって、現在業者の絞込みをしているところで、7月頃には契約をして、来年3月末までの工期ということは聞いています。その詳しいことが分かっていたらと思ひ質問いたしました。

○会長

参事監、この基金の用途については、ここが10年もかけて、議論して、決着をみた内容ですから、その後についても、非常に、協議会としては関心が高い問題でもある訳ですから、やはり、合併してからの弊害だと思うんですけど、本庁で扱えば、もう支所の方では、殆ど、つまはじきで置かれているということが、散見されますので、それはそれで、いたし方ないところも、あると思いますが、こういう協議会で関心の高いものは、やはり、本庁の方に情報を出さないと困ると、一般市民から聞かれている訳ではないということ、強く申し上げて、随時、本当はこういう質問がくるのではないかと、こういう情報を欲しがるかもしれない、とか準備をしておいて下さい。お願いします。

○支所長

私たちが工事の進捗については把握をしていません。会長からお話がありましたとおり、担当課と連絡を取り合って、次の協議会ではその進捗状況について、報告をさせていただきたいと思います。

○会長

宜しくお願いします。

○委員

コミュニティバスの件ですが、まえここで市長と話したときに、基金をコミュニティバスに使いたいんだけど、という話をしたときに、いやそれは、平戸市の方で、ちゃんと予定してますと回答を1回得たことがあるんですよ。実績として。でそのうちいずれ、こちらにも配布されるのではないかと、思ってたんですけど、平戸市の北部中部あたりのコミュニティバスは財政的におかしくなって、一旦やめになって、違う業者が運行しているんですね。それである、そういう状況の中で、まず、コミュニティバスというのは、度島みたいな形にならなくても、ここに入れてもらえるのかどうか、が1点と、もし入れてもらえなかったら、これは、教育委員会の方かも知れませんが、まえ、教育委員会の方で、スクールバスを活用するという話があったとき、あれは、教育・スクールバスですから、その老人会とか、そういうコミュニティには使えませんよということで、それはあたりまでなんです。回答をもらってましたけども、生月保育園とか、段々少なくなってきて、スクールバスの稼働率を見ますと、昔よりも落ちてきているんじゃないかと、小学生なんかも落ちている。そうした時に、他の団体が活用したいといったときに、そういう利用は広げてくれるのかでなんか小耳に挟んだら、それを使ったこともありますよとみたいなもの、その真意は分からないですけども、その、スクール以外にね、そういうのを小耳に挟んで、実態はどうなんだと、あれは、あくまでもスクールバスなんで、将来的にはなくす方向でもっていいのか、コミュニティバスが出てくるのか、そこの整理を、今日、明日ではなくても、方向性だけでも伺えることができたと思いますけど。

○地域振興課長

これについても、私のほうで、調べまして、次のときにご回答申し上げます。

○副会長

関連ですが、少子化の問題で、保育所等の統廃合の問題も出ております。それに関連して、今すぐにではないんですけど、今度は小学校の問題も否が応でも浮かび上がってくるんじゃないかなと思うんですけど、次回のときにまでに、統廃合になるための条件というんですかね、ただだんに人数が少ないから、小学校2校ありますけど、1校にするのか、それとも、どういった状況になれば、統廃合の問題が出てくるのか、それに伴って、もしも統廃合になった場合、スクールバス、コミュニティバス、そういった必要性がでてくるのではないかなと思うんですけど、それに対する、見込みっていうんですかね、見通しが今の段階で、考えられるようであれば、次回までに、条件ですってについてですねお願いできればと思います。後、2つ目に博物館のリニューアルの問題で、今後予算のリニューアルの進捗状況で、予算が足りなくなる、という出てくる可能性があるのか、それが出た場合に、どういった資源

を活用するのか、といったところも、今すぐではなくていいですけど、可能性が出た場合、にですね、基金の使い道の問題もでてきますので、そういったところも、次回までにお知らせいただきたいなと思います、

○会長

今の資金の問題、支所長の方で、さっきの回答と併せて（リニューアル）そこを詰めて、それからあの、○委員から出た、コミュニティバスの件については。2年前から、ずっといつてますから、もう少し、議事録を読み返して、どういう話になっているのかそのへんを把握したうえで、必要な本庁との部署と、連絡を取りながら、具体的な回答を出すよう、努力して下さい。

○委員

たとえば、館浦で事業があったり、館浦の歯科医院に通ったり、生月のスーパーに通ったり、生月病院は、バスが通っているんですけど、全部タクシーなんですよ。ばあちゃんとかじいちゃん達は、片道、場合によっては千円かかるときがあるんですよ。それで、年金とか厳しい中で、タクシーで買い物に行ってね、タクシーの割引も、障害者とかがあるんですよ、だからそれで通っているのかは分からないんですが、そういう実態なんです。だからもしですね、話をされるようでしたら、午前1回、午後1回必要な箇所を1回、回らせてもらう、場合によっては、生月バスはどうなるのか、競合するのではないかといったときには、生月バスに運転手とバスを委託して、それも受益者負担で、一切お金は取らないんじゃないかと、1回乗るために100円とか200円とかお金をとるような形で、経費については、そこで充当は出来ないかもしれませんが、意識を変えるということで、そういうことを、日に2回ぐらい、回転させて、乗るたびに、200円とか入れるとか、なんなかそう言うふうな、前向きな方向を、話の中で提案していただければ、検討する余地は、すこし出てくるんじゃないかと思います。なんでもかんでも、全部ただで乗るよという気持ちではなくて、それをよろしくお願いします。

○会長

だいぶ、時間も長くなりましたが、これで一般的な質問は止めていいですか。

(はいという声)

それでは、これからの地域協議会をどのように進めていけばいいのか、限られた年数の設置期間だと思います。地域コミュニティも集落によって温度差がありますが、進んでるところもあれば、やっとなんか手をつけるというところもあって、それとの係わりあい方も課題となって来るでしょう。そういう点で、まず1人ずつ、地域協議会はこの課題があるんじゃないかと、地域協議会はこのことをもうちょっと真剣に協議した方がよいのではないかと。地域協議会は、こういうことを積極的に自ら取り組んでもいいんじゃないかと。その

他、皆さんが常日頃、お考えが持たれていると思いますので、それを、発表していただきたいと考えております。○委員さんの方からお願いします。

○委員

合併してから10年ほどなりますが、なにが一番変わったか、この支所の職員の人数が極端に減ったことです。これ以上減らしたら、おそらくは、ここ生月町もそうですが、活力がなくなると思います。そういうことから適正な職員数が果たしてどの程度あればいいのかわかるか。適正な職員数を下回らないような、行政の仕組み、増やしていただければ幸いですけどね、そういうふうなことを含めて、是非ともその辺の協議会の中から、意見申し上げたいと思う。

○委員

協議会の今後のあり方ですけども、地域コミュニティの方でなんか、人を集めてですね、今後の計画を立てたいんで、公募の回覧が来ました。実施計画みたいのがね。で、総合計画とか、地域の計画というんですか、ロードマップみたいなものを、作って行かないといけないんだと思うんですけど、地域協議会で、単独で動くということは、出来ないと思いますんで、そことの絡みで、チェックやって、それを市の方に、上げたり、それからなんかやっていくような形になると思うんですけど、予算の獲得とかがあるかもしれません。その前にですね、もう1つチェックをやって行く、検討をやって行く。以外にですね、私この委員になってからずーと考えているのがですね、生月の今の問題点、合併して10年経った今、何が、欠落してて、今後、5年か10年のうち、何を修正して行けばと。もちろん、子供を増やせとか、学校を統合するとかそういうことは言いません。でそれが、婦人会とか、商工会とか、漁協とか、区長さんとか、各種団体がおられてましてね、そこで話し合われてて、どうしても単独で解決できないけど、こういう問題があるよという、拾い上げと、整理をここ一年間でやって、それをコミュニティの協議会の方に上手く引き渡す。なんかそう言う形をつくることできれば、次の協議会ができる、までの大きな役割ができると思うんです。例えば、成人式1つにしても合併したために今までやってきたことで、こんなことは単独でできなくなるよというようなことがあれば、それは全部、問題点として洗い出せばいいんですね。で、これはもうしょうがないということ。いやこれはやっぱり、このところで取り組んでなんとか、継続してやっていかないといけないという。職員数もどうしてもここでは落としてはいけない部署がここにあるんだ、ということが、はっきり分かってくれば、そこは守るとか、増やすとか、という形をするんで、まず、あの、状況の把握をね。それぞれの団体、いろんなところからの意見、全部1回。毎回毎回、集約することができて、それを積み重ねて、どこかの時点で、一斉に仕分けをして行く。なんか、そういうことが、方向性としてもっていったらと思っています。

○会長

はい、ありがとうございました。○委員。

○委員

大枠は○委員さんが言われたことに含まれているんですけど。私たち2人は区長会から選出しております。一応、区長会も先程言いました、コミュニティのまちづくりをするんですけども、まちづくりと、地域協議会をやったり、一緒になってやらんと連携をとってやっていけないかと思う。まちづくりでいろいろ考えても、なかなかうまく行かないようになるし、そうすると協議会方で言えることもあるし。とにかくまちづくりと協議会が、なんかの形で、連携をとっていける体制にしたらどうかなってという気持です。

○会長

はい、ありがとうございました。

○委員

言いたいことは、○委員が言った通りなんですけど。館浦の方には。まちづくり協議会準備委員会ができて、今、4回ほど会議がすんだんですけど、次また23日にも会議があるんですけど、本当に、この地域協議会とですね、連携をとることが、大事だなと考えております。地域協議会はまちづくり委員会から、そのお話が出たことをですね、ある程度、ここで揉んでもらってですね、行政に上げる、あるいは、これはという問題があれば、また、まちづくりの方に投げかけたりして、うまく連携をとって行くことが、今後この生月町の活性化に繋がると思っていますんで、それが地域協議会の役割ではないかなと思っています。

○会長

はい。次、○委員。

○委員

少子高齢化の対策とか、生月町の活性化、この辺の協議をもう少し、しなければならぬという気がします。昨日とか今日の朝、ニュースを聞いておりましたら、都心部、まあどこでもいっしょなんだろうが。高齢化が進んで、10年後、施設がなくて受け入れ先がなくて、地方に行ってもらえないと。まあそこらへんの受け入れを、市で対策を考えて、雇用の場を創れば、活性化も出てくるんじゃないか、いろいろと私なりの考えを持っているのですが、平戸市が人口が減っていく中に、なんとかして、増やすじゃなくて、減らさないように、どうにかする協議をしてもいいのではないかと思います。

○会長

はい。ありがとうございました。

○委員さん。

○委員

私としては、やっぱり、地域コミュニティが立ち上がろうとしていますので、一緒になって、地域協議会も話をしていって、やっぱり、生月の特徴を出していただきたいと思います。私は農業の方なんですけど、後継者の問題ですね、一番問題だと思ってます。高齢者になって。

後継者にお嫁さんがいないとかもありまして。やっぱり、後継者がいなければ子供も生まれませんので、そういうことを考えていけたらなと思います。

○会長

はい。○さん。

○委員

毎月市の広報を見ますと、亡くなる方と、生まれてくる方をみれば、生月町は、去年は3名。亡くなる方はそうとうおりまして、人口も6千人をきって、皆さん統一した見解だと思いますけど、やはり、まず生月町をみれば、高齢化して子供達がいらない。将来、私も不安ですよ。生月町の将来。特に私漁業の立場ですけども、漁業の担い手もいません。あと10年もすれば、うちの漁協では10名しかいないと思われる漁業するひとは。それぐらい、深刻な問題ですよ。それは漁業に限らず、農業、商工もすべての分野でいえると思うのですが、やはり、この地域協議会のなかで、いかにして生月町の担い手を育てていくかと、IターンUターン色々ありますが、それらを含めてですね、市県もいろいろがんばってますが、いろんな制度を作ってますね。やはり現場の声を地域の皆さんの委員さんの皆さんの声を吸い上げてですよ、そしてなんとか地元の人口を増やそうと、産業を活性化しよう、担い手を増やそうと、こういった議論の場でやりながら、生月町の活性化を図ったらどうかなと考えます。以上です。

○会長

はい。ありがとうございました。

○委員お願いします。

○委員

課題はたくさんあるんですけど、ここで議論して、できたら具体的にこんなことをしてみたらどうか、というみたいなやつを。やっぱり地域協議会は市長の諮問機関ですから、積極

的に、要望書なり、提言なり、すべきではないかと思います。それと後、皆さんおっしゃるとおりに、そのまちづくり協議会と連携しながら、ここは議論する場が中心ですけど、まちづくり協議会は計画をたてて、それを実行するという場だと思うんですね。ですからそっちの方にも意見交換とかですね、いろんな形で、連携しながら進めるべきではないかと思います。

○会長

ありがとうございました。

○委員お願いします。

○委員

私事ですが、勤務している幼稚園が数年先には閉園という動きで、進めております。子供の姿、声がなくなり、園舎だけが残るとというのが寂しく不安なもので、若者が住みやすい、今居る若者でさえも、出て行きたい気持っているのが、大きいと思うんですね。だから、居る若者がここに留まる、生月良いよという感じで、どうか留まって欲しい、そういう何かがあったら、皆で協議して、良い方向に進めていけたらと願います。

○会長

ありがとうございました。

○委員お願いします。

○委員

この協議会では、議論は多種多重でたくさんあるわけですけど、もう少し結論を出せるものは、出していただいて、それをやはり実行に移していく。そりゃ短時間で終わるやつもあれば、長期間かかるやつ、結論もあると思いますけども、やはり、出せるものは、結論を出して、先延ばししない。というのは、年4回、臨時会入れて5回しかありませんので、短い回数ですので、毎回毎回で出せる限り結論は出していただきたいというのが、私の願望です。

それと、お願いですけど、大バエ灯台の方に、私孫と一緒に住んでいるので、ドライブ好きな孫で、連れて行くわけですけども。平戸市の方にも先日、ドライブしたいということで、紐差、南部まで行きました。県道か市道かわかりませんが、よくこう整備されている、極端に言えば、草刈もすすんでいるんですね。生月には必ず、私壱部の方に住んでいる関係で、私の小さい農場も県道際にあるもんですから、見かけるバスは殆ど、堀川バス、西鉄とか昭和、いろんなバスが入ってきております。御崎の大バエ灯台に行きますと、いつも行っても草なんですね。駐車場から遊歩道から、いつ切ったかわからないような、状態なんですよ。やはり同じ平戸市が観光を目指すまちということであれば、これこそが、合併した異議が十二分に浸透されていないのではないかと思うんですね。農免道路につきましては、工事が

終わらなければ、大型車は通れない、せめて、牧山商店から、先は市道と聞いております。あれから先は、市道の分だけでも、灯台までは常に、やはり気持ちよく帰っていただくと。平戸市に来て良かったよといえるような、これも1つのまちづくりではないかと、私おもいますので、そこらへんをよろしくしくお願いします。

○会長

どうもありがとうございました。今のですね環境整備について指摘されているんですが、次の会議に、参事監の方ですよ、予算面から、整備の回数から、平戸のそういった観光地周辺の環境整備と生月の観光地の周辺整備、どのように差があるのか、そこを詳しく調べて下さい。

○地域振興課参事監

生月の場合は、シルバーさんに委託をして、ローテーションを組んで、生月の観光地については、清掃、駐車場とか、遊歩道の清掃あたりは、シルバーさんと賃金のほうで、時期を見てですね、実施しているところです。特に観光地については、生月内に大バエ灯台、石原橋、ガスパル様、他にもたくさんありますので、ローテーションを組んでですね、実施しているところです。それとまた併せて、平戸市全体の、市道についてはシルバーの方とまた、別途、市道の維持管理の契約をしております、御崎の灯台の上り口の市道についても先週、別契約のシルバーさんがこられて、清掃をしている状況でございます。

○会長

今の件は初めて出てきた問題ではない。もう何年も前から、仮に農免農道、観光道路、サンセットウェイ名をうっているわりに、草ぼうぼうじゃないかと、どうなっているんだと、こういう案件は前々からも出てたわけですよ。だからなぜそうなるのか、予算がどれだけについて、実際にその予算の範囲で、どれだけの作業がなされているのかと、言うことの具体的な説明がないと皆さん理解できないんですよ。そこらへんを数字も出しながら、説明していただければ、委員の皆様方も、じゃ、こうしてもらわないといけないなど、さっきから意見が出ていように、協議会としての方向性としても出てくるわけですから。市に必要であれば、願います。やらんばいかんですから。よろしく願います。

ここで休憩します。

(休憩)

○会長

休憩前に引き続き再開します。支所長にお尋ねですけど、支所長は田平の地域協議会に携わってこられて来ましたが、田平にこういう、田平の地域協議会こういうことをやっている。生月に参考にしたい、あるいは取り入れたら、いいのではないかとというのがあれば、お聞かせください。

○支所長

私は、2年間、田平町地域協議会に携わっていましたが、田平町も生月とほぼ同じようなことを行っていたと思います。協議会のたびに、補助金、交付金の審査に時間をとられて、本来の地域協議会の仕事をしていないのではという話がありました。そこで少しでも地域のための協議ができるようにしなければと話をしておりましたが、具体的なことは決まっていません。このことは新しい委員さんで引き続き協議が行われると思います。

しかし、ちょっと違うと感じたのは、以前もこの話をしたと思いますが、田平地区にも地域協議会があり、区長会があり、議員さん方がいらっしゃいます。それぞれの組織があって、その組織の繋がりがあるんですね。そこらへんが生月と違うところかなと感じております。生月はひとつひとつの組織はまとまっていますけど、それを繋げていくことも必要かなと感じているところです。

○会長

ありがとうございました。今日は皆さん方に貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございました。まあ、1つこれを取りまとめていかなければならないんですが、前回の会議で生月地区について分科会を設けておりまして、この資料⑨にも、その部会の名簿を作成されて皆さん方に提供されていると思いますけども。今後の進め方として、私の提案事項でありますから、参考にしていただければと思うんですけど、限られた日数のなかで、一年間を終わらなければならないということで、ほかにやれば、いろいろ協議を詰めて、無償でやって下さいと、いうのがこの協議会のあり方になっているんですが、そこで大変心苦しいんですけども、全員が集まって協議すると、やはり膨大な時間を要しますし、意見の集約についても、かなり手こずる部分があります。そこで、1つの案として、11月の地域協議会までに、それぞれの分科会で、皆さん方が時間とか日にちを調整していただいて、先ほど意見がありました中で、現時点で生月は何が問題なのか、それから、それをクリアするための、課題なんなのか、そして、5年先、10年先、20年先を見据えたまちづくりはどうあるべきかということを議論していただきたいと思うんです。それぞれの分科会で。それぞれ分科会の持っているテーマを越しても良いと思うんですよ。産業部会の問題でも入って良いと思うんですよ。環境問題の中に。あるいは、環境問題の中に、教育の問題も入れて良いと思うんですよ。その委員さん達が、感じている、メインはそれぞれの部会の中の、テーマに沿ったもの、まとめていただくのが一番いいんですけど、それ以外も、他の部会も検討してもらいたいというのがあれば、それもいいと。そして、部会の中で意見を集約してもらって、11月の会議で、部会長さんからご報告いただいて、そしてその中で、優先順位を決めると、その課題に対して。ある程度のタイムスケジュールを作って、解決していきますと、いうような取り組み方をしていきたいなと考えているんですけども、いかがでしょうか。皆さん方にご異議がなければ、そのような方向付けをしていきたいんですけど、それでよろしいですか。

(はいという声あり)

それではそのようにしたいと思います。ですから、部会長さん大変ですけど、そのへんは部会長さんの方でいろいろ調整して、会議の開催を宜しく願います。地域コミュニティと、この地域協議会の連携、サポート体制ですね。以前から、私言っているように、地域コミュニティの中に、ここの委員さんがかなり入っていると思うんですよ。だから、会議の都度、こういう問題があるんですけど、地域協議会のなかでも、詰める。あるいは、山小、生小、それぞれありますから、山小の方はどうなのとか、意見交換をする場がすでにできている。そこはそこで対応して。ということで、進めて、いけたらなと考えております。この分の問題提起は、そう厳しいものはないのかなという感じは持っております。率直にこの問題があると、もっとこの中で協議した方がいいのではなというのを、発表していただければねと思っておりますので、その点よろしく願いしておきます。大変会議が長くなりましたけども、今日は、地域協議会の今後の取組みの方向性が、1つ出てきましたので、目標に向かって、やっついこうかなと、思っておりますので、今後とも皆様方のご協力をお願いします。他にありませんか。

○委員

いつも懸念しているのが、地域コミュニティの動きというのがですね、たぶん事務局の方で説明に行きましたとか、これくらい人間が集まりましたとか、地域コミュニティの仮称のほうで、会長の方が決まれば、ここに来て。ここで、同じ人が、表と裏で、ここ協議会メンバーあり、且つ、地域協議会の責任を持つ人だということですね、それでもいいんですけど、ここの地域協議会でやるときに、コミュニティの動きというのがね、何も知らないで、ある日突然3年経ったから、はい渡しましょうなんて言ったって、全然私どものサポートはできませんよね。で、そのあたりは、今後どういう形でやっていくんですか。そこがちょっと気になっているんですよ。地域コミュニティは募集したけど、いつから、開催して、今後どういう計画でおりますと、皆さんの方には、まとまった意見は、いつ頃出せますと。そういう情報は、とれますか。地域コミュニティと連携とっているのですが、連携の方法がね。あの、発表してもらっただけでいいんですよ。状況は今こういう状況でありますとかね、ここまで進んでおりますと。いついつ、先ほど言った、館浦の方でも4回やってますと、で、4回の中で、大きな問題点はこういうのがありますよと、一言行って、あーだこーだと言わなくていいので。この間公募があったんですけど、私は協議会ですから、自分で応募しなかったんですよ。あっちでやる、こっちでやるということはいけませんのでね。だからそのところは、今後どういう形で取り組んでいくのか確認だけしていただきたいんですけど。

○地域振興課主任主事

新しいコミュニティ作りについては、今現在。山田小学校区、生月小学校区において、まちづくり計画書というものを、策定するための、準備会を作っている段階です。山田小学校区のほうでは、若干、立ち上がり、早かったこともありまして、4回程度の準備会を開

催しております。生月小学校区につきましては、先日区民会。区民会総会が4月に開催されまして、そのなかで、壱部と御崎地区が、2地区住民説明会が残っていましたので、そこで説明を終えまして、生月小学校区のほう準備会の発足のほうに取りかかりました。そこで区長と協議をしまして、まちづくり計画を策定するメンバーの洗い出しを行いまして、それを各種団体の方から、さまざまな団体メンバーの方の選出をお願いしまして、その中に、生月町地域協議会の委員さんも、ご協力をいただきたいということで、会長の方をお願いいたしまして、それで協議会からもご協力いただけるという形をとっています。実際、各所団体に入っている方々が、この中におられまして、地域協議会とかぶっている部分もございます。そういった、計画策定の会議というものを、月に一回程度行いながら、地域の課題や、現状などを、皆で話し合いながら、その地区のまちづくり計画書っていうものを作っていくという段階です。それで、生月小学校区のほうは、来週6月12日の金曜日に中央公民館の方で会議の予定をしております、委員さんが28名選出を区長会でしまして生月小学校区の議員さん2名もオブザーバーで入ってもらうようお願いをしております。あたらしいコミュニティについての進捗というのは、今、説明したような状況です。

○地域振興課市民協働班長

ちょっと補足をいたします。山田小学校区の方はですね、すでに5回ほど、協議がなされているという状況ですが、協議した内容については、新聞を作りまして、回覧のほうで、館浦地区のみですけど、回す予定をしております。また、生月小学校の方でも、この度、発足会が開催されますので、協議があったことにつきましてはですね、その都度、回覧等作ってですね、お示しするとしておりますので、よろしく申し上げます。

○会長

分かりました。1つ懸念事項がある。私、懸念しているんですけど、新しいコミュニティの創設において、我々地域協議会の中で、説明を受けている部分と、若干方向性が変わっている部分がどうも出てきているような、感じもしますんで、具体的な、方向付けが、できればですよ、あなた方の事務取扱いと、それから地域コミュニティが担っていく、お金、権限、これがどう動いて行くのか、節目、節目の段階で、地域協議会に説明をしていただかんと、色々な面で、すり合わせは良いんですけど、もうちょっと、一歩下がって、これでいいのかな、っていう、そういう立ち位置に、我々なるときがあるんじゃないかと、思いますので、そこらへんの説明を、区長会は説明してからいいですよ、地域説明会で説明したからいいですよと、なんか置きざりにされているような感じも受けなくはないもんですから、そこらへんはお願いしたいと思います。確かにお聞きすれば、すこしづつ変化してますよっていう話でもありますので、やっぱり、こう将来の、生月地区の行政事務が、このことによって、どう動いていこうというのか。今までやってきた分の肩代わりが、地域住民がどう付託され

ていこうとされているのか、そこらへんのことを、我々、正直言って把握したいです。だからそこらへんの、詳しい内容については、その都度説明をよろしくお願いします。

○地域振興課主任主事

地域協議会の開催が実際に年に4回、5回程度しかないっていう部分で、なかなか説明ができなかった部分も多々あるかも知れませんが、今後、地域協議会が今から部会活動を、メインにおいていくということですので、もしよろしければ、部会の中で、コミュニティの進捗を説明できればと思います。

○会長

よろしいですか。部会はですね、必要があれば、どんどん支所に申し入れて、出前講座を受けて、専門的な知識の吸収が必要であれば、担当者をよんで、取り組んでいただきたいと思います。

○委員

くれぐれも皆さんの方で、共通認識を持っておかないといけないのは、コミュニティで色々話されて、どんどん進んでいくことは、いい事なんですけど、地域協議会でサポートするのは、良いことだと思います。地域協議会の部会でね、真剣に話しあったら、すでにですね、コミュニティで解決してますと。それは今さらとかって言うのがね、年4回と、毎月やっているのは違いますから、だからそこが一番困るんですよ、で、ここに来て発言するといったときに、それはもう解決済みですって言うこと、一生懸命真剣に、話し合ったことが出てくるかもしれないんですよ。だから、どういうふうに絡みあって、どういうふうに移行させていったらいいのかっていうのがね、もっと下のレベルでね、ごそごそやりましょうやっていう気持があるのにもかかわらず、なんかさっき言った、もうすでに話されてますとか、説明会は終わってますと、で、いついつまでに、そういうことをね、たぶん、先ほど言ったように、各部会で問題点とか今後の方向を出してくださいということを会長言われましたけど、それはたぶん地域コミュニティの方にも、その話は行っているんですよ。それぞれのところで、(行っていませんよの声あり)だから、すみ分けだけを、ここのやることと、あっちのあることのすみ分けを、きちんとして欲しいということですよ。別段こっちが上、あっちが下という訳ではなくて、こっちからここまでは、協議会でちゃんとやってくださいと。こちらは全部やりますからとかね、その情報がなんにもないままに、一生懸命に議論してね。以上です。

○会長

いまの意見の内容を、基づいてですよ、部会が開催されたときには、丁寧な説明を事務局の方をお願いします。正直、私は、山田が先行してますけど、山田は山田なりの事業計画が

あって先行しているのではないかなとおもっています。我々に説明した内容と、変わるべきものは、正直に、言ってもらわないと、我々はそれで行くんだらうと、その分の対応はどうするのか、考えながら、議論を進める場合がありますので、よろしくお願いします。大変長時間になりましたけど、以上で議論を止めて、行きたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは以上で第2回生月町地域協議会を終了させていただきます。

17時05分 閉会

9. 会議の公開

公開する

10. 会議資料の名称及び内容

- ①平成27年度第2回生月町地域協議会資料（レジュメ）
- ②平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金交付要綱
- ③平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金実績評価要領
- ④平成26年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金（生月地区）実績評価一覧
【様式5号】
- ⑤平成26年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金（生月地区）実績評価一覧
- ⑥平成26年度平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金（生月地区）実績報告資料集
- ⑦平成27年度まちづくり活性化事業交付金（生月地区）審査一覧
- ⑧平戸市やらんば市民活動サポート事業補助金審査要領
- ⑨生月町地域協議会専門部会名簿（平成27年度4月1日現在）

11. 会議録の作成の職員氏名

平戸市生月支所地域振興課

主査 破戸 修

平成27年6月5日

会議録署名委員

濱 崎 壽 利

川 渕 洋 海